

(様式3)

令和2年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

施設名	伊勢市二見こども未来クラブ	所在地	伊勢市二見町茶屋63-4
指定管理者名	株式会社日本デイケアセンター	指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
設置目的	二見浦小学校児童の健全な放課後活動を支援する施設です。		
業務内容	・学童保育の運営に関すること ・二見未来こどもクラブの維持管理に関すること ・二見浦小学校児童の健やかな成長に資すること ・管理業務等報告に関すること		
施設概要	敷地面積 516.11㎡ 建築面積 109.35㎡ 延床面積 109.35㎡ 教室・事務室・台所・運動場		
職員体制	11名		
施設所管課名	子育て応援課		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	比較(C-B)
事業 収支	収入				
	指定管理料	5,520,000	5,537,000	5,553,000	16,000
	利用料金	1,108,000	2,325,000	1,730,000	△ 595,000
	その他	0	332,000	0	△ 332,000
	計(a)	6,628,000	8,194,000	7,283,000	△ 911,000
	支出				
	人件費	4,668,000	6,970,000	5,349,000	△ 1,621,000
	管理運営費	1,960,000	1,224,000	1,876,000	652,000
その他	0	0	58,000	58,000	
計(b)	6,628,000	8,194,000	7,283,000	△ 911,000	
収支差引額(a)-(b)		0	0	0	0

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	児童数減による利用料の減収 (-119名) 利用人数減による人件費削減 職員募集による広告宣伝費増
----------------------------------	---

3 評価 (別表様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
コロナによる登録児童数の減少により利用料減収となったが、職員の雇用を守る為人件費の削減は限定的なものとなり収益に大きく影響をもたらした。利用料の徴収に関しては、徴収方法を限定した為、全家庭回収となった。	施設の管理については概ね適正に行われていたが、仕様書に定めている月次報告や各種提出物が遅れて、催促をしなければ提出がなされないことがある。、必ず決められた期日までに月次報告・提出を行うように注意されたい。 利用料の徴収漏れについては、体制の改善はみられるものの、利用者からの利用料に関する苦情があること、未回収の解消にまで至っていないことなど、利用の公平性を保つよう真摯に対応すること。 利用者に不安や不快感を与えないよう適切な対応を行うとともに、組織内の情報共有に努められたい。 総じて、利用者・現場の職員と信頼関係の構築に努められたい。

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

		施設名 二見こども未来クラブ			
評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	A	施設の目的や基本方針を十分理解し管理をおこなった。	A	施設の目的や基本方針については事業計画書にも記載があり、日々の業務にも理解の程が見受けられた。
	②施設設置目的の達成度	A	施設の目的である保育に欠ける児童の受け皿機能は果たせた	A	施設の利用状況、管理状況から施設の設置目的は達成している。
	③利用者数	C	目標は延べ465人であったがコロナの影響もあり346人となり119人のマイナスとなった	A	新型コロナウイルス感染症のため、利用者側の利用自粛もあり、利用者が減ったと考えられるが、受入に必要な体制は取られている。
	④運営状況	A	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。	A	事業計画通りに開所・時間を達成した。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	A	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明確になっていたか。	A	人員配置は常勤3人体制とし、適正な勤務体制をとった。
	⑥意思疎通	B	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者間で十分な連絡調整がなされていたか。	B	運営責任者による市との連絡調整はできたと考える
	⑦各種管理記録等の整備・保管	B	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	B	毎月の安全チェック等、適切に保管されている
	⑧地域の振興	C	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図れていたか。	C	コロナの関係もあり地域の住民との交流は今年度は行っていない。
	⑨使用許可等	B	使用許可等申請が適正に行なわれていたか。	B	適切におこなったと考えます。
	⑩利用料金等の徴収状況	A	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。	A	今年度は本社と営業所両部門で入金確認をおこない、入金漏れの無きよう細心の注意をはらった。
	⑪個人情報	A	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	個人情報に関しては鍵のかかるキャビネットにて管理している
	⑫法令遵守	A	関係法令を遵守していたか。	A	個人情報保護法・労働基準法等適切に遵守した

指定管理業務の項目別評価表

		施設名 二見こども未来クラブ			
評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	C	コロナの関係もあり、おこなっていない	B	新型コロナウイルス感染症の影響を受け活動が制限されていたため、利用者数増加への取り組みがしにくい場面もあった。
	②利用者の平等な利用	A	毎日始業前の確認と月1度の会議にて情報の共有をはかった。	B	サービス水準については、期待される水準にあるが、管理者と現場職員の意思疎通ができていないため苦情に繋がっている。
	③適切な情報提供	A	メール配信及び手紙の配布により情報の提供をおこなった。	A	効果的な情報提供を行っている。
	④非常時・緊急時の対応	A	毎月の避難訓練の実施及び安全対策マニュアルにより緊急時の対応の方法を示している。	A	緊急時を想定した訓練は毎月行われていた。
	⑤苦情解決体制及び対応	B	苦情に関しては、日々職員の中で対応できることに関しては職員にておこない、それ以外の事故等に関しては会社として対応した。	B	施設に苦情を伝えたが対応がなされない、等の苦情が市へ入ることもあり、利用者からの意見・苦情が処理し切れていない。利用者への対応を誠実に行うよう努めること。
	⑥自主事業	C	コロナにより、自主事業はおこなっていない。	B	新型コロナウイルス感染症により活動が制限されたが、アンケートなどで利用者のニーズを把握し、コロナ禍でも実施できる自主事業を行うよう努められたい。
	⑦事業の評価	B	事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。	B	立案だけでなく、計画の実行も行うこと。また、既存の取り組みについても適宜見直しを行い改善すること。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	定期的に園庭に整備・遊具の点検をおこない、事故の無きよう注意をはらった。	C	遊具点検等施設の管理に必要な点検、修繕等が行えておらず、安全性の確保・良好な機能維持の担保が取れていない。
	②備品等の管理	B	備品点検は定期的に行い、不具合が発生したのものに関しては修理をおこなった。	A	破損や紛失がなく、衛生面についても消毒等を行い、適正に管理されていた。
	③修繕業務	A	点検のよって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。	B	現場の意向が指定管理者から市に届かず、必要な修繕を行っていないことがあった。
	④清掃業務	A	清掃は適切に行なわれていたか。	A	基本毎日の清掃は義務付けており、適切におこなった。
	⑤防犯体制	A	鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。	A	定められた場所に保管し、管理者が認めた職員のみ使用している。